

湘南慶育病院

山岡 洸 (リハビリテーション部 作業療法士 入職6年目)

功 績 作業療法士の主任の山岡は、当院の脳神経センター（センター長：寺山副院長）や地域連携室と協力し、ボツリヌス療法及びリハビリテーションの入院治療の流れと、リハビリテーション内容の整備を中心的に取り組んだ。その結果、現在では、地域包括ケア病棟でのボツリヌス治療とリハビリテーションを希望する患者さんが増加し、患者さんの著明な改善を認めるに至った。さらに、これらの成果について、研究活動と学会発表（神奈川県作業療法学会、ニューロリハビリテーション医学会）を通じて、学術的貢献ならびに当院の知名度向上に貢献した功績。

推 薦 者 久保 雅昭 (リハビリテーション部 部長)

推 薦 理 由 当院リハ部の山岡洸（作業療法士）が、当院の脳神経センター（寺山副院長・椎橋医師）や地域連携室と協力し、ボツリヌス療法とリハビリテーションの入院治療の流れの整備と、リハビリテーション内容の整備ができました。

このエリアに必要な新しい治療が当院で開始できたこと、さらには学術的な知見として、当院の知名度向上にもつながった事は、理事長賞に値するとし、推薦いたします。

内 容

当院リハビリテーション部の山岡洸（作業療法士 入職6年目）が、当院の脳神経センターの寺山副院長、椎橋医師や地域連携室と協力し、ボツリヌス毒素療法とリハビリテーションの入院治療の流れの整備と、リハビリテーション内容の整備を中心的に取り組んだところ、地域包括ケア病棟でのリハビリテーション治療を希望する患者さんが増加し、患者さんの著明な改善を認めました。

当院のエリアではリハビリテーションを含む痙縮治療を受けられる施設が必要とされており、2023年6月には、「拘縮治療 地域連携セミナー in湘南」を開催しています。また、この取り組みの成果は、神奈川県作業療法学会、ニューロリハビリテーション医学会（下記演題名）を通じて、学術的貢献ならびに当院の知名度向上に貢献しました。

- ・慢性期重度上肢麻痺に対して運動機能改善を目指しボツリヌス投与後に複合的アプローチを実施した実践報告
- ・重度感覚障害を有する慢性期の脳卒中症例に対しボツリヌス投与後に触覚弁別フィードバック機器を併用した作業療法の実践